

生きる力の基礎を育む幼稚園 教育をめざして

桂川幼稚園 園長 城石 俊弘

新学期を迎え、ちゅうりつぶ組（3歳児）5名、たんぽぽ組（4歳児）8名、ひまわり組（5歳児）6名が、楽しく園生活をおくっています。

本年度の教育目標を「元気で友だちと協力して遊べる子どもの育成」とし、「健康で健やかに育ち元気に遊べる子ども」「友だちの喜びや悲しみがわかる思いやりのある子ども」「人の話をよく聞き、自分の思いを言える子ども」の育成を目指します。



わんぱくタイム



リトミック

本年度から毎日登園後に「わんぱくタイム」を設け、体操やランニング、外遊び、園外の散歩等を計画的に行います。昨年からの取り入れた外部講師による「リトミック」も継続し、身体能力の向上や子どもの感性、表現力の向上を図る取組を進めます。

また、小学校生活へのスムーズ

な接続を図るためのアプローチカリキュラムや、3歳児から4歳児、4歳児から5歳児へと一貫性とながりのある教育を行うための「育ちと学びの接続プラン」の実践、町内2小学校児童との交流活動等を通して、3年間を見通した園児のより良い育ちをめざします。

開かれた園づくりをめざして、町立図書館、王塚装飾古墳館、ゆのうら体験の杜の活用やとれたて村、桂川東アンビシャス広場の方たちとの体験・交流活動など、地域の施設の活用や地域の方とのふれあいにも力を入れ、「ふるさと桂川」への意識を芽生えさせたいと考えています。

子どもたちの園生活の様子を写真でお知らせする「元気っ子だより」も毎月更新していますので、ぜひご覧になってください。

（桂川町公式HP↓子育て・教育↓桂川幼稚園↓「元気っ子だより」で見ることが出来ます。）

本年度も教職員一同、生きる力の基礎を育むことを目標に、子どもたちに負けない明るさと元気で幼稚園教育を進めていきます。

地域や保護者の皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

気づき 考え 実行する

桂川中学校 校長 安藤 能之

本年度の学校教育目標は、引き続き「自ら学び、夢の実現にむけ、進取の気概を持つ生徒の育成」です。そして、全校スローガンも「気づき考え実行する」生徒を目指すしました。

【卒業後、高校等に進学して伸びる生徒】とはどんな生徒なのか。それを高校の先生に尋ねると、「それは、高い目的意識と豊富な経験値を持つ生徒です」ということでした。入学時から「海外留学したいです」「英語を極めたいです」「宇宙工学に進みます」とか「生徒会役員になりました」「実行委員会をやりました」「実践発表したことがあります」「プレゼン創って説明しました」など、考えを自分の言葉で語れる生徒。それが伸びる生徒だと。

今の桂川中学校の生徒たちもこのような、困難にぶつかっても、夢の実現にむけ果敢に挑戦し、新たな自分を創造できる生徒であってほしいと思います。

そのための「気づき・考え・実行する」機会を作ろうと、今年度も取組も計画しているところです。



▲昨年のふるさとけいせんプロジェクトより

○体育会等では学年を越えたプロジェクトを作り、3年生のリーダーシップに期待します。
○フィリピンの中学生とのオンライン授業の経験を活かし、町の海外派遣事業にも挑戦します。
○昨年度の成果を基に、「ふるさとけいせんプロジェクト」に取り組みます。

何事もうまくいくことばかりではありませんが、あきらめずにやり抜く気持ちも大切です。そして、その中で夢の実現をめざして、保護者や地域のみなさまとも協働して良い方向に進みたいと思います。

職員一同、精一杯努めますので、今後ともよろしくお願いいたします。